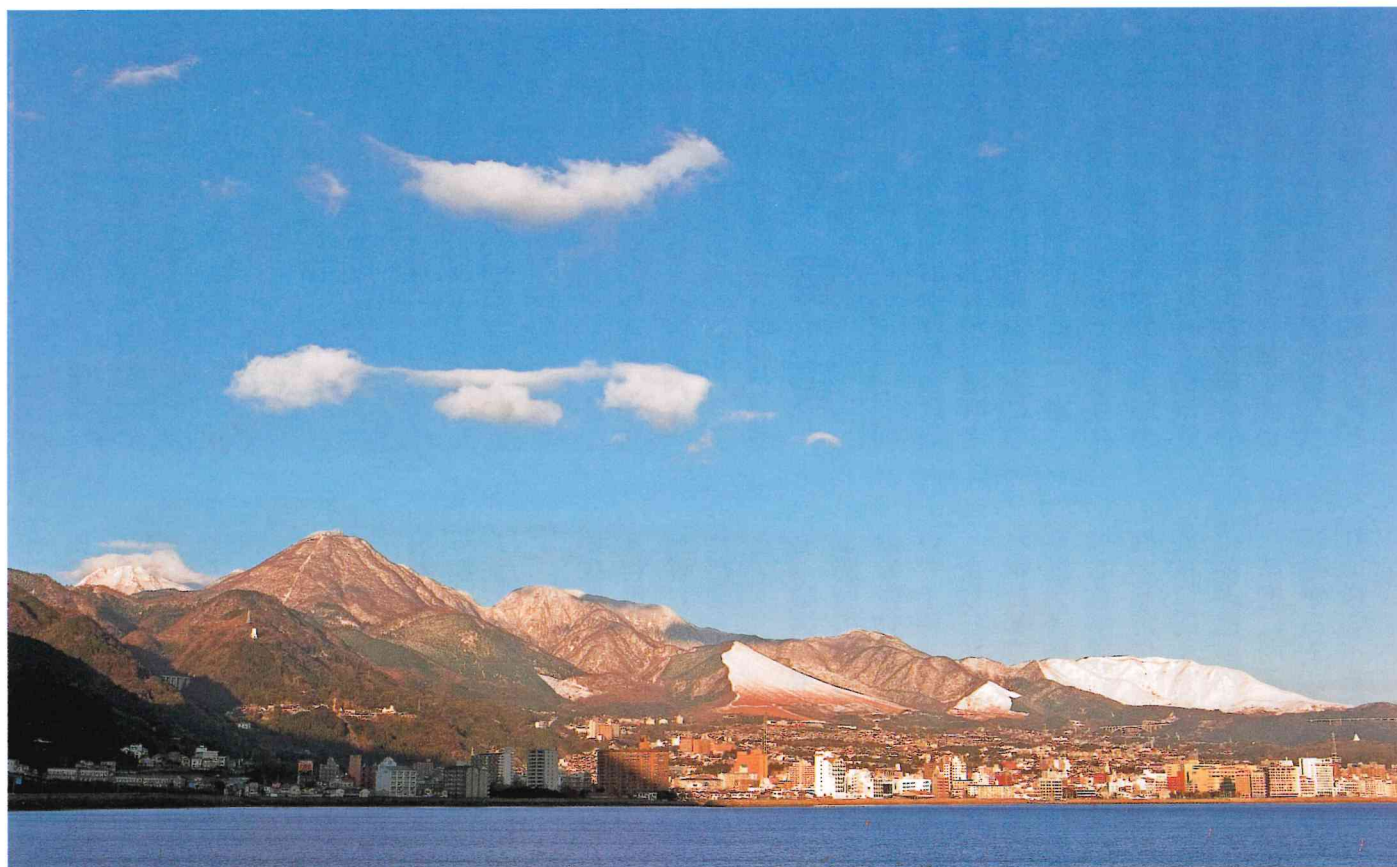


べっぴ 市議会だより

No. 70 平成 17 年 2 月 1 日

編集 議会報・HP 運営委員会
発行 別 府 市 議 会
住所 ☎ 874-8511
別府市上野口町 1-15
☎ 0977-21-1111
メー ル sec-cc@city.beppu.lg.jp



雪化粧をした別府

十二月定例会会期の経過

十二月三十日

議会運営委員会

二日 本会議（委員長報告、討論、表決、議案上程、提案理由の説明）

六日 本会議（議案質疑・委員会付託）

七日 本会議（一般質問）

八日 本会議（一般質問）

九日 本会議（一般質問）

十日 本会議（一般質問）

十五日 各常任委員会

議会運営委員会本会議（上程中の全議案に対する委員長報告、討論、表決）

主な内容

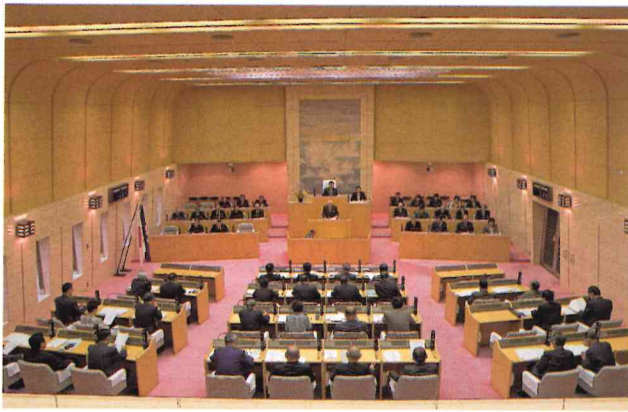
主な議決 … P2～3

議案質疑 … P4

特 集 … P5

一般質問 … P6～11

そ の 他 … P12



12月定例会風景

主な議決

十二月定例会では、初日に継続審査中の二件について、所管の委員長より審査の経過と結果について報告がなされ採決の結果、一件は認定、一件は引き続き継続審査となりました。次に補正予算や市長専決処分など十八件の議案が上程され、市長の提案説明に対する質疑の後、所管の常任委員会へ付託されました。これらの議案は、最終日に所管の委員長より審査の経過と結果について報告がなされ、すべて原案のとおり可決、及び承認されました。

議決された主な内容は、次のとおりです。

継続審査

◎ 平成十五年度別府市一般会計歳入歳出決算及び平成十五年度別府市各特別会計歳入歳出決算の認定について (認定)

去る九月定例会において上程され継続審査中の「議第八十七号平成十五年度別府市一般会計歳入歳出決算及び平成十五年度別府市各特別会計歳入歳出決算の認定について」は、十一月四日、五日の二日間にかたり決算審査を行いました。主な内容と

して、財政の構造上の一番の問題点である自主財源比率については、全国の類似団体と比較しても非常に低くなっており、この改善のためには税収の増加や収益事業である競輪事業の再興が不可欠であり、担当部署において従来から努力をされていることは認めるが、この改善なくして根本的な財政基盤の確立は不可能であり、これからは歳出の抑制中心ではなく限られた財源を有効に活用し、新たな歳入確保といった観点での政策形成をすると同時に、併せて未利用財産の活用など、新たな財源確保についても早急に取り組んでいただきたいとの要望が述べられました。

◎ 議第三十二号別府市議会議員及び別府市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定について (継続)

去る三月の定例会において上程され継続審査中の「議第三十二号別府市議会議員及び別府市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定について」に関連し、四月九日に議長の諮問機関である「議会改革推進委員会」が設置され、議会改革案に関する項目について九回の審議があり、十月八日議長に答申されました。これを受けて現在「議会

運営委員会」で答申の諸事項に対する申し合わせが行われていることを勘案し、その結果をもって対処するとの観点から閉会中も引き続き継続審査とすることになりました。

補正予算

◎ 平成十六年度別府市一般会計・特別会計補正予算 (原案可決)

今回の一般会計補正予算額は、二十一億五千三百三十万円であり、これを既決予算に加えると総額四百十二億八千三百万円となる。主な補正内容は、総務費では、後年度の事業の財源への影響を緩和するために設けた別府市職員退職手当基金の積立額を計上している。

民生費では、障害者等の家庭へのホームヘルパー派遣に係る支援費制度の利用拡大に伴う増加額を追加計上している。また、子育て支援対策の一環として、児童手当の支給対象の範囲が小学校第三学年修了前までに拡大されたことに伴い、必要となる追加額を計上している。

土木費では、度重なる台風の風雨による影響を受け、経年劣化が著しい市営住宅の屋上の防水について、春先の強風による剥落などの被害を

未然に防止するため、年次計画を前倒して実施する補修工事に要する経費を計上している。

災害復旧費では、台風による被害の復旧に必要な経費を計上している。

公債費では、個人住民税の先行減税等の財源とするための減税補てん債が、本年度末に一括償還となることから、これを緩和する国の借換制度を活用するため、必要な予算を計上している。

次に、特別会計補正予算額は、六億七千六百八十八万四千円であり、これを既決予算に加えると五百六十九億四千九百八十一万六千円となる。

介護保険事業特別会計補正予算では、要介護認定又は要支援認定を受け、居宅で生活する方や施設で介護が必要な方に対するサービスの安定供給を確保するために必要な経費を追加計上している。

その他

◎ 別府市役所事務分掌条例の一部改正について (原案可決)

機構改革の実施に伴い、条例を改めようとするものです。

◎ 別府市、別杵速見地域広域市町村圏事務組合公平委員会の委員の服

務の宣誓に関する条例及び選挙人、関係人として出頭した者及び公聴会の参加者等に対する実費弁償条例の一部改正について (原案可決)

地方公務員法及び地方公共団体の一般職の任期付職員の採用に関する法律の一部を改正する法律(平成十六年法律第八十五号)により、地方公務員法(昭和二十五年法律第二百六十一号)が改正され、条項移動を生じたことに伴い、条例を改めようとするものです。

◎ 別府市手数料条例の一部改正について (原案可決)

別府商業高等学校の入学考査料及び入学料を改定することに伴い、条例を改めようとするものです。

◎ 別府市立学校の設置及び管理に関する条例の一部改正について (原案可決)

別府商業高等学校の授業料及び幼稚園の保育料を改定することに伴い、条例を改めようとするものです。

◎ 別府市総合教育センターの設置及び管理に関する条例の制定について (原案可決)

機構改革の実施により教育センターと青少年センターを統合し、総合教育センターを設置することに伴い、条例を制定しようとするものです。

◎ 別府市保育所の設置及び管理に関する条例の一部改正について (原案可決)

鶴見保育所の移転により所在地を変更すること等に伴い、条例を改めようとするものです。

◎ 別府市児童館の設置及び管理に関する条例の一部改正について (原案可決)

西部児童館を設置することに伴い、条例を改めようとするものです。

◎ 別府市国民健康保険税条例の一部改正について (原案可決)

地方税法(昭和二十五年法律第二百二十六号)第七百六条の二の規定により本市が実施する国民健康保険

税の徴収の特例を廃止するに当たり、納期の変更等を行うことに伴い、条例を改めようとするものです。

◎ 旧慣による公有財産についての権利を廃止することについて (原案可決)

市有地の旧慣使用権を廃止しようとするものです。

◎ 市長専決処分について(承認) 台風による災害復旧費の支出

意見書

議員より意見書9件が提出され、7件が可決されました。

可決された意見書は直ちに関係機関へ送付されました。

- ◇ 「国民訴訟制度」等の創設を求める意見書 (原案可決)
- ◇ 「人権侵害の救済に関する法律」の早期制定を求める意見書 (原案可決)
- ◇ 高等学校改革プラン検討委員会による「再編計画」を見直し、地域の声を十分反映したものとするを求める意見書 (原案可決)
- ◇ 「食料・農業・農村基本計画」見直しに関する意見書 (原案可決)
- ◇ 大規模災害の対策と早期復旧に関する意見書 (原案可決)
- ◇ 高齢者虐待防止法の制定を求める意見書 (原案可決)
- ◇ 改革年金法の実施を中止し、最低保障年金制度の創設を求める意見書 (原案否決)
- ◇ 介護保険制度の改善を求める意見書 (原案否決)
- ◇ 平成17年度地方交付税所要総額確保に関する意見書 (原案可決)

案 疑 議 質

議案質疑は、執行部が提出した
予算や条例などの議案に対し質疑
を行います。

十二月六日に四名の議員が行い
ましたが、そのうち、主な質疑内
容を掲載します。

台風による災害 復旧について

問 今年は台風の被害が多く、特に
台風二十三号の被害が激しいよう
でした。別府市においての被害はど
のような状況であったか又、どのよ
うな対策をしたのか説明願いたい。

答 台風二十三号は、大型の雨台風
で異常な降雨となり各地で被害を受
け、各所で浸水及び法面の崩壊など
大きな被害となりました。

応急処置として土嚢の設置による
浸水対策、崩土及び倒木処理、側溝及
び、路面の清掃等の処理を行いました。
問 この台風により、農業関係の被
害はどのような状況になっているか
説明願いたい。

答 市内全域で被害があり、特に、

内成地区・東山地区・天間地区の被
害が甚大でした。農作物は被害額が
二千三百十萬円の約六十ヘクタ―
ル・園芸施設等は二千六百八十八萬
円の三百二十五件・農地・農業用施
設は一億八千二百九十九萬円の百三十
四件であり被害総額は二億三千二百
十七万円となっています。

問 内成地区・東山地区・天間地区
の被害が甚大だったようですが特
に、内成地区の被害がひどかったと
聞いている。ここは平成十一年に農
林水産省より棚田百選の指定を受け
た地域であるが、この目的理由につ
いて説明願いたい。

答 指定を受けた趣旨は洪水防止、
水源涵養、多様な動植物の生息空間
や美しい景観などがあり、その維
持、保全の取組みを積極的に評価し、
農業農村の発展を図ることともに、

国民の理解を深めることを目的とし
て内成の棚田が認定されました。

問 この棚田を守ることは、地域は
もちろんですが、行政にも大きな責
任がある。地元の方々も復旧工事は
ぜひ昔の形（石積み）にして欲しい
と要望している。対策はどのように
考えているのか説明願いたい。

答 復旧工事はブロックが主体に
なっていますが、今後関係団体と協
議してできるだけ石積みで復旧した
いと考えています。

問 市営住宅においてもかなりの雨
漏りがあつたと聞いている。今回の
屋上防水についてどのような対策を
考えているのか説明願いたい。

答 鉄筋コンクリート造の市営住宅
屋上防水については、昭和五十年
建設の竹の内住宅までは防水モルタ



今回被害を受けた内成地域の棚田



美しい棚田の景観（平成 14 年撮影）

ル工法であり、その翌年から昭和六
十年建設分の石田住宅までがアス
ファルト防水でここまでが陸屋根と
呼ばれ、昭和六十二年建設の小倉
住宅から松原住宅までフッ素樹脂鋼
板等使用の勾配屋根となっていま
す。今回被害を受けたのは陸屋根の
住宅であり、対象住宅は、扇山の
B・C棟、緑ヶ丘A・B棟、古賀口
D棟、宮園C棟、石田B棟、野口原
B棟、鶴見D棟の計七住宅団地の九
棟であります。

今回の台風では、学校の先生や消
防本部、土木課、福祉関係課等々の
被害者への対応は迅速で適切に処理
された。被害を受けた地元の方々
は、本当に感謝していた。

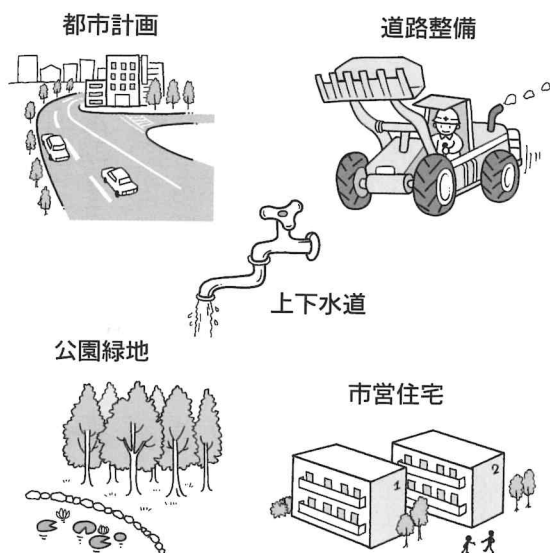
特に、地域と学校との連携が非常
に大切であることを実感した。

特集

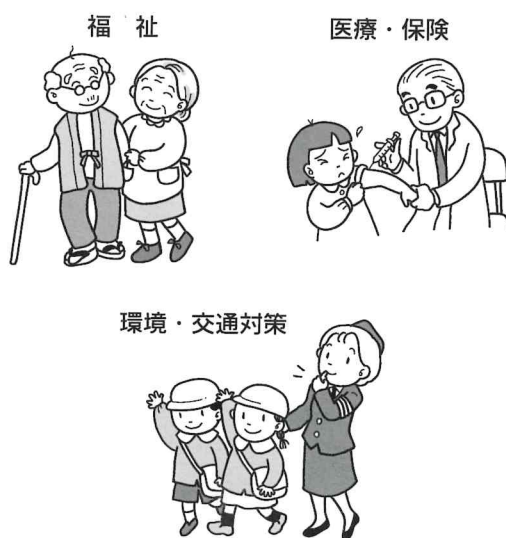
委員会の仕事は？

「委員会」とは、議会の内部組織で、本会議で提案された議案等の審査や調査をします。別府市の議員31名は、4つの部門に分かれて「常任委員会」に所属しています。今回は下記の常任委員会をご紹介します。（他の常任委員会はNo.67に掲載）

建設水道委員会



厚生委員会



などの審査及び調査をしています



◆山本 一成 ◇岩男 三男
長野 恭紘 野口 哲男
野田 紀子 高橋美智子
浜野 弘 首藤 正

◆池田 康雄 ◇黒木愛一郎
国実 久夫 猿渡 久子
堀本 博行 永井 正
佐藤 岩男 朝倉 斉

（◆委員長 ◇副委員長 議席順）

一般質問

一般質問は、市の行政全般にわたり事務の執行状況や将来に対する方針などを質問するものです。

十二月七日から九日までの三日間十九名の議員が市当局の見解をたきました。
主な内容は次のとおりです。

大型店の市有地への誘致について

行財政改革クラブ

泉 武弘

問 大分県の統計による別府市の小売業年間商品販売額は、平成九年一

四八七億一七五九万円、十一年一三九三億九八〇〇万円、十四年一二八五億三一六六万円と販売額は大幅に減少している。また大分県全体や大分市でも減少している。株式会社イズミが出店している防府、宇部、高松、長崎、大牟田の各市においてイズミが進出しても小売業の販売額が減少している。また中津に進出したゆめタウン中津でも当初売り上げ予測一五二億円が達成できず十五年度は一〇〇億円しか販売していない。この現実から大型店誘致を楠港埋立

地にしても商業の活性化や市民利益に繋がらないばかりか、小売業の経営を苦しめる結果になる。大型店を市有地に誘致することは白紙に戻すべきでは。

答 既定方針通り進める。

楠港、客引き、災害対策について

日本共産党議員団

平野 文活

問 ゆめタウンが進出した都市を視察したが、中心商店街の空洞化が進んでいる。大牟田ではデパートが倒産し、空き店舗率は十二・三%から二十一・六%になった。中津市の購買調査では、ゆめタウン二十五・六%に対し、中心商店街三・二%（休日の場合）という結果だ。全国的に

は行政と商店街が協働して大型店に頼らず成功している商店街もあり、別府市も学ぶべきではないか。

答 大型店進出と商店街の売り上げ減少という全国的な傾向は事実と認識している。別府ではデメリットは持ち込まず、メリットを生かすよう努力したい。

問 長年の懸案である駅前での客引き追放問題はどうかっているのか。

答 遅くとも三月末までには解決する方向で詰め協議をしている。

問 先日の台風で馬場地区では高層マンションが原因と思われる被害があった。建築物の高さ制限をすべきではないか。

答 同地区では地区計画の中で十五メートル以内に規制するよう努力したい。



市議会特別委員会が視察したゆめタウン高松

楠港問題について

公明党 堀本 博行

問 九月議会で市長は「これからが私の出番だ」と答弁したが、その後、観光戦略会議の提言を受けて市長は「楠港埋め立て地を港町文化云々、海を全部塞ぐ様なことはしたくない。業者に対し設計変更をお願いしていく」と発言している。仮に設計変更に応じたとして、その時点で選定委員が地上五階地下一階の㈱イズミを選んだ前提が崩れるのではないか。五社のプレゼンでも、一社が「如何様にも対応致します」と説明した。市長は市民の声を聞いて、選定された業者をお願いをしていくと言うならば、なぜ「如何様にも対応します」と言う業者が選ばれずに、プレゼンの時点で変更は難しいと言われた㈱イズミが選ばれたのか、これほど不思議な経緯はない。またある雑誌のインタビューで、「イズミは一切変更は行わない姿勢だった。交渉は可能か」との質問に、「イズミの対応は、裏を返せばそれだけ自分たちのプランに自信を持って臨んだということ。それくらいしっかりとした企業のほうが、市

民の声に真剣に向き合ってくれるのでは」と話した。おかしな話だ。真意を伺いたい。

答 決して五社のうち四社が劣っていると判断しての発言ではない。

楠港周辺の交通

渋滞は回避できない

社民・市民の声連合

池田 康雄

問 市行政は今回の楠港跡地への企業誘致は平成十二年の別府市中心市街地活性化基本計画に沿ったものだと主張するが本場にそうであろうか。基本計画では跡地の開発事業主体は別府市と民間とすると明記されている。ところが今別府市は跡地六千坪の全てを企業に賃貸し、別府市が事業主体となることを回避している。この対応は明らかに計画と矛盾している。又、市は跡地に誘致する企業として大型商業施設は認められていると主張するが、計画の中で記されているショッピングプロムナードを大型商業施設と読み替えることに無理がある。つまり基本計画の中に大型スーパーは想定されていない。もう一つ大きな問題点はこの基本計画の中で、国道十号線の渋滞問題への対応の視点が欠落しているこ

とだ。私は現在でさえ渋滞の見られる十号線であれば、跡地に千台以上の駐車場を持つ企業が進出すれば住民や観光客に甚大な影響をもたらす交通渋滞を引き起こすことを懸念している。再考願いたい。

観光行政と楠港

跡地問題について

自民党市民クラブ

村田 政弘

問 別府観光は戦後空襲を受けず、立ち上がりが早くラクテンチが国有地払い下げを受け昭和二十六年オープンしたのに続き、城島高原、スギノイパレス、近鉄ロープウェイ等が相次ぎオープン、地獄めぐりと相俟って体制が整い、その上に幸いにも高崎山のサルブームに助けられ、別府の景気は昇天の勢い。更に昭和五十二年にはサファリ景気に支えられ押すな押すなの盛況だった。ブームが去り景気低迷と別府観光の低迷が続き第三の目玉が欲しいところだ。更に楠港跡地問題では過日中津市、大牟田市、呉市、高松市の四市の(株)イズミの各店舗を視察しましたが、各店舗とも集客力はたいしたもの、で、その中で呉市の場合が商店街、行政、議会、そこう何れもたいした反

対もなく協調ムードでうまくいっており大変参考点が多かった。別府もベストだとは思わぬがベターだと思う。(株)イズミを有効活用しながら目標である中心商店街活性化にいかにつなぐかは商店街の努力と行政の後押し次第、旅館ホテルの客の囲い込みが問題だ。交通アクセスは国道十号線に陸橋や地下車道が必要だと思う。

防火、貯水槽の

整備計画について

社民・市民の声連合

田中 祐二

問 災害対策基本法の既定に基づく総合的かつ計画的な防災対策を推進するため、平成十四年三月に「地域防災計画」が策定された。この計画を防災面から検証するため質問します。防火水槽はどのくらい設置されているのか。今後の設置計画はあるのか。

答 消火活動に使用する容量四十トンの防火水槽は、二百三十七基設置されています。今後は場所等選定を考慮し計画的に設置していきたい。

問 飲料水を兼用した耐震性貯水槽は現在何基設置されているのか。

答 飲料水兼耐震性貯水槽は、六基設置している。容量が百トンであり断水時の飲料水として使用する。



昨年11月に行われた境川小での防災訓練

問 地震発生時、上水道の寸断等による断水が当然考えられるが、貯水槽六基によつて市民の給水が三日間可能なのか。今後増設する計画は。

答 一基あたり計算しますと、約一万人の方に三日間の給水が可能であり約六万人の給水が可能。今後の整備計画については、人口密集地等を含めて調査し、十二万市民が三日間給水可能となるよう整備していきたい。

防災について

成人式について

日本共産党議員団

猿渡 久子

問 私は中越大地震の被災地である長岡市・小千谷市に行き、救援ボランティアを経験し勉強してきたが、職員も被災地に行き勉強すべき。

全職員を対象に災害時に対応できる
応急手当・救助活動・安否の確認・
初期消火等の研修が必要では。現在
市内八カ所に災害用備蓄をしている
とのことだが、内成・東山など山間
部の避難所にも毛布・乾パンなどの
備蓄をすべき。また、地域防災訓練
や市民への啓発を強化し、ホーム
ページ等もイラストを入れるなど見
やすく工夫を。災害時に活用できる
制度のパンフレットの作成を。

答 全職員の研修は段階的に導入し
ていきたい。他の面も協議し前向き
に検討する。

問 新成人が主人公の成人式を求め
てきたが、今年度の成人式の計画は。

答 来賓の紹介をプログラム上での
紹介、祝電披露を掲示に変更し、各
中学校の恩師よりのお祝いメッセー
ジをビデオに挿入し見せよう。

問 障害者の人権を守る取組は。

答 県から文書で各施設に指導した。

災害対策について

公明党 市原 隆生

問 今年は大分県下を四つの台風が
襲い各地に大きな被害をもたらした。
とりわけ台風二十三号の時に大
量の雨が降り、亀川浜田地区の内竈

ちびつ子広場公園付近の道路が数十
メートルにわたって冠水した。ここ
に至った経過と今後の対策をお尋ね
いたしたい。

答 この台風の特徴は、非常に雨量
が多く、列島各地で冠水等が発生し
ている。市内においても時間あたり
四十二ミリの雨が集中した。ま
た、当箇所には本河川として入江川
があるが、本線に注ぐ支線で狭小箇
所の未改修部分があったことから冠
水したものと思われる。入江川本線
は昭和五十八年度より平成三年度に、
河口から国立団地の間六百メートル
の改修を行っている。これによって
近年ではかなりの雨量にも冠水しな
くなっている。今回の原因となった
と思われる部分については、早急に
現地調査を行い改善していきたい。
尚、周辺整備が予定されてるJR亀
川駅付近については、今回の現場よ
り二メートル程度高いことから、冠
水等の恐れはまずないと考えている。

災害対策への 取組みについて

公明党 原 克美

問 「災害は忘れた頃にやってくる」という名言がありますが、今年
は忘れる間もなく台風が何度となく

襲ってきたし、そうしたときに新潟
県中越地震が起きました。今回ほ
ど自然災害の恐ろしさを嫌と言うほ
ど思い知らされた年はないと思いま
す。別府市も日頃から耐震構造やラ
イフラインを総点検、強化し、防災
に強い街づくりが必要と思うが、今
回の教訓をどのように生かし災害対
策に取り組みようとしているのか。

答 今年は台風の来襲も多く、大き
な地震も日本各地で起こっていま
す。「備えあれば憂いなし」とあり
ますが、災害はいつ襲ってくるか分
かりません。そのため別府市も非常
時を考えて毎年防災訓練も実施して
いますし、備蓄等の備えにも努力を
しています。別府市も活断層が多く
あり、災害にあった時の意識を市民
の皆さんに持っていたくことも大
事だと思っています。防災マップの作製
や出前トークで出来るだけ私たち
の方から市民の方に出て行き、災害に
対する強化に対しても今年を踏まえ
来年もしっかり取り組んでいきます。

湯山クレー 射撃場について

日本共産党議員団

野田 紀子

問 全国のクレー射撃場と同じよう

な鉛汚染が湯山の場合も心配され
る。検査の結果はどうか。

答 平成十三年から十六年十一月ま
で八千六百六十三人入場し九十八万
八千三百五十発射撃。大分県クレ
ー射撃協会に平成十六年度末まで五年
間独占使用を許可している。年間使
用料十八万九千円を徴収。水質は飲
用可能である。

問 今後の使用方針はどうか。

答 水質検査で環境基準値以上の値
が出れば適切な対応をする。

問 射撃継続で鉛はさらに堆積す
る。大分国体開催のため建設し全県
の射撃愛好家が利用しているので、
県に鉛除去、水質、土壌検査の負担
を求め、県クレー射撃協会に対し五
年間の長期使用を見直すことも含め
て代替弾の使用を強く要求し、指導



湯山クレー射撃場の管理事務所

を強めるべきである。クレール射撃の健全なスポーツとしての発展のため、環境に十分に配慮して市民の理解を得るように教育委員会は強く指導すべきである。

環境保全対策 観光推進策について

自民党清新会 野口 哲男

問 京都議定書の発効と市の取り組みとしてエコツーリズムの観点から、風力発電、太陽光発電、小水力発電、屋上緑化、壁面緑化、ごみゼロ運動等環境保全と今後の具体的取り組みは。

答 市では温泉熱利用もエコエネルギーと考えているが、最近は個人住宅でも設置できる各種発電機の開発も進んでおり、行政や企業はもとより市民全体に環境に配慮したエコエネルギー意識が浸透していくことが何より重要であると考えている。

問 別府観光推進策提言書を受け、過去色々な提言書の結末と同様、絵に描いた餅とならないよう行政側の今後の実効ある対応が「成否」の鍵を握ると思うが、観光従事者以外のおもてなしの心の醸成、人材育成、観光局に代表される機構改革等具体的な取り組みはどうなってるのか。

答 提言を受け庁内に戦略本部を設置し機構改革による新たな組織での展開を図り、マーケティング調査専門部署の必要性を感じているので今後検討したい。市民の声に応えられる専門職員の育成、新たなツーリズム局で実効ある取り組みをしたい。

行革と指定管理者 制度について

自民党清新会 長野 恭紘

問 平成十五年六月に地方自治法の改正があり、「公の施設」を民間企業やNPOなどにも委託できるようになった。この指定管理者制度を積極的に活用し、行革を一層進めるべきだ。また指定管理者制度導入は、民間企業のノウハウなどでより一層のサービス向上と、新たなビジネスチャンスにもなる。大きな施設などは、コンソーシアム方式（複合企業体）により、出来れば地元の企業等に委託していくべきだと考えるが、どのように考えるか。

答 すでに指定管理者制度を導入している市町村では、公募になじまないもの以外は広く公募している様です。応募資格についても、各施設ごと募集要項を定めることになりま

す。その中で、個々の施設の管理運営を幅広い分野にわたっての人材やノウハウを求めることになる。本市においても、地域の民間企業や複数の組織が新たな法人を組織した場合にも、応募できるようなシステムを作り上げたいと考えております。

海岸整備計画について

社民・市民の声連合 高橋美智子

問 国土交通省の直轄海岸整備事業計画が楠港跡地とどう影響があるかという観点から、全体計画と交通アクセス・駐車場について問う。

答 防災機能の強化、潤いとやすらぎのある高質な海岸線によみがえらせるために餅ヶ浜地区については左右二箇所約二百台収容の駐車場と



整備工事の始まった餅ヶ浜地区

海岸背後の市道の拡幅を計画している。北浜一地区と二地区は検討委員会や幹事会の中で隣接する市道・公園・広場を海岸線とのアクセスに利用しながら駐車場なども検討していきたい。

問 北浜ヨットハーバーの県の事業計画があるが、北浜公園と一体化した整備が考えられないのか。

答 北浜公園も中心市街地活性化事業の一環としてリニューアルを計画している。

問 大分からの交通アクセスなど南部の交流拠点整備はどうなっているのか。

答 南の玄関口としてインフォメーション施設機能強化、中心市街地活性化計画、県の東別府地区の緑地や別大国道拡幅計画等整備計画がされています。

別府市の 機構改革について

自民党清新会 萩野 忠好

問 部・課・係をまとめ、特に係の数を減らして課内全員で与えられた仕事を誰でも出来るように民間方式にすれば職員数は減少できると思います。今回の機構改革でONSENツーリズム局が設置されようとして

いますが「ツーリズム」という言葉さえ知らない人が多い。ツーリズム局では分からないと思う。横文字が一人歩きして何となく良いような呼称と思われる向きもあるが、新聞の投書にあるようになるべく横文字を使わないようにして欲しい。私も日本語の呼称を使う方が取り付きやすいと思う。また、別府は観光立市であり観光課と温泉課は永年親しまれた課でありましたが機構改革によって廃止されONSENツーリズム局内で室としていく事は、何か別府から観光立市のイメージが消えていく気がします。

答 従来の観光行政からツーリズム別府型としてONSENツーリズムを施策の柱として行っていくべく呼称をしようとするものです。観光という名称については部として観光経済部局内の室として観光まちづくり室としております。

市財政問題と 春木苑移転について

自民党清新会 吉富英三郎

問 国による三位一体改革の中で別府市においても国・県からの交付金・補助金が大幅な削減を受け、さらに市歳入のうち自主財源の根幹をなす市



現在のし尿処理場「春木苑」

税収入も十一年度と十五年度を比較した場合約十二億円もの減少をしている。別府市が各種団体に対し支出している各種補助金等もこの際英断を持ってカットするべきではないか。
答 新年度予算編成にあたり、補助金関係については全件見直しの方針で取り組んでおります。補助効果の精査や補助事業間に均衡などを図り、削減を検討しております。

問 春木苑は昭和四十四年の操業でありあまりにも老朽化した施設でありながら、中央浄化センターへの移転、現在地での建て替え等を含めた計画は未定なのか。

答 現在地での建て替えでも二十〜三十億円の事業費が必要となり、中央浄化センターへのし尿処理施設の移転については諸々の問題がありま

すので、現時点では決定に至ってはおりません。

政治は弱い立場の 人を守るために

公明党 岩男 三男

問 障害を持つ児童のため、いきいきプランにより市内の小中学校に教員補助を配置している。今後も継続して欲しいとの保護者の強い希望がある。政治は弱い立場の人を守ることもが大事だ。クラスや担任の立場に立つても必要だ。別府市単独でも予算化してこれらの人を守って欲しい。

答 現在緊急地域雇用創出特別基金事業で小学校に八名、中学校に二名の教員補助を配置している。多動性障害や肢体不自由等支援を必要とする児童・生徒がいると担任が一人で授業が中断することになり、教員補助は必要。何らかの形で続けられるよう、関係課と協議したい。

問 楠港(株)イズミの進出は市内業者に大きな打撃を与える。各地とも(株)イズミが進出したところは一人勝ちで商店街や大手スーパー等が倒産や閉店し活性化になっていない。弱い立場の商店の方々の意見を聞き、市民が作った土地で市民が苦しむ事は許されない。中小零細業者の立場に立て

答 中心市街地活性化が目標である。商店街の理解を得るよう努力をする。

老人ホームの民営化 の経過について

社民・市民の声連合 麻生 健

問 市営養護老人ホーム扇山民間移管に伴う選定委員会関係の補正予算が九月議会で議決されたが、その後の経過についてお尋ねしたい。

答 養護老人ホームの移管(民設・民営)に伴う社会福祉法人募集の記事を市報十一月号及びホームページに掲載し、一法人からの応募がありました。十一月二日に第一回、十二月一日に第二回の選定委員会を開催し、評価基準の設定及び建設予定地の現地見学を実施しました。第三回目以降については、選定委員と社会福祉法人とのヒアリングを行うことを予定しております。また、国の「三位一体の改革」により、今後、施設整備の国庫補助が廃止され、税源移譲と交付金化が予定されていますが、具体的な交付額は不確実な現状です。しかし、市営の養護老人ホームを引き受けて頂く訳なので応募法人に対し、スムーズに移管できる様、可能な限りの配慮をし、入所

者に対しても安心して入所できる様、最大限の努力をしたいと考えております。

旧南小学校跡地の活用計画について

自民党清新会 国実 久夫

問 南小学校跡地の活用方法について私は、市が責任を持って主体性を失うことなく、スピード感を持ってやってもらいたいと考えている。今後の推進体制について伺いたい。

答 今年度末までには、市の活用方針案を策定したいこと、十七年度には「市有財産活用計画」を策定したいと考えております。

問 跡地には地域の活性化のためにも、子どもから大人まで住みたくするような、快適な住環境施設の建設も是非検討していただきたいと思っています。将来に明るい展望のあるバランスの良いモデル地区となるような跡地利用計画を策定して欲しいと考えていますが、当局の見解をお願いします。

答 南地区の将来像として、「商店・医療・公共施設が整った利便性の高い近郊住宅地区」を希望している市民の方々が多くいました。議員ご指摘の件についても十分に考慮しな

がら、南小学校跡地を含めた「市有財産活用計画」の策定を目指したいと思えます。

住宅行政について

自民党清新会 嶋 幸一

問 最低居住水準を満たしているかどうか到底思われない市営住宅で、多くの市民が日夜生活していることについてどのようにお考えか、また別府市営住宅ストック総合活用計画を拝見すれば、西別府住宅をはじめとする住宅を建て替えるために、今年度から来年度にかけて、基本構想、基本設計などを行うようになっていない。別府市営住宅ストック総合活用

計画を反故にするといったことはないと思うが、市長の考えを伺いたい。
答 現在、本市が管理している市営住宅の状況は居住水準の改善が著しく立ち後れていると認識しており、入居者の方々に大変ご不便をおかけし、心痛む思いをしているが、財政的にも厳しい時期であることから、一気に建て替えることは出来ない。しかし今後は別府市営住宅ストック総合活用計画を重視しながら、推進して参りたい。

選挙管理委員会委員及び補充員が決まりました。

別府市選挙管理委員会委員及び補充員が平成十六年十二月二十五日をもって任期満了となりましたので、地方自治法に基づき、次の方々が新しい委員及び補充員に選ばれました。

委員	堀 榮治
委員	糸永 正行
委員	祝園 隆至
委員	雨宮 洋子
補充員	安部 暢明
補充員	黒本美耶子
補充員	山田 桂三
補充員	工藤美智子

市議会を身近なものに！

ホームページでは、「市議会日程」「会議録」「議員名簿」など役に立つコンテンツや、普段見られない「議場」「議長室」などを360度のパノラマでご紹介しています。ぜひ一度ご覧ください。

別府市議会のホームページは
<http://www.city.beppu.oita.jp/gikai/> よりどうぞ。



平成16年 議会活動状況 (平成16年1月～12月)

(1) 本会議及び議決件数

区 分		会期日数	傍聴者数	市長提出議案	議員提出議案	その他	合 計
定例会	第1回（3月）	26 日	81 人	52 件	3 件	件	55 件
	第2回（6月）	13 日	127 人	26 件	7 件	1 件	34 件
	第3回（9月）	14 日	170 人	18 件	7 件	1 件	26 件
	第4回（12月）	14 日	86 人	20 件	9 件	1 件	30 件
合 計		67 日	464 人	116 件	26 件	3 件	145 件

(2) 常任委員会

区 分	開催日数	付託件数	調査会日数
総務文教委員会	9日	42件	4日
観光経済委員会	5日	20件	2日
厚生委員会	5日	31件	4日
建設水道委員会	5日	20件	1日
合 計	24日	113件	11日

(3) 特別委員会等

区 分	開催日数	付託件数	調査会日数
観光振興及び企業・大学対策特別委員会	1日	1件	1日
交通体系及び海岸整備対策特別委員会	2日	6件	日
南部地域振興対策特別委員会	1日	1件	日
決 算 特 別 委 員 会	2日	1件	日
議 会 運 営 委 員 会	16日	件	日
各 会 派 代 表 者 会 議	7日	件	日
全 員 協 議 会	1日	件	日
議会報・ホームページ特別委員会	8日	件	日
議 会 改 革 推 進 委 員 会	9日	件	日
合 計	47日	9件	1日

後藤健介議員 逝去



平成16年12月8日、後藤健介議員(自民党清新会)が逝去されました。
平成7年4月より連続3期10年にわたり議員を勤められました。
ここに、生前の面影をしのび、安らかなるご冥福をお祈りいたします。

* この他に、議員が議会代表として、市長等より委嘱され、各種審議会・協議会委員として活動しています。

傍聴のご案内

◆ 本会議はどなたでも傍聴できます。

◆ お気軽に議会棟四階へお越し下さい。

◆ 傍聴席は八十席あり、車椅子席も七台分用意されています。

◆ 次の定例会は二月下旬から三月中旬を予定しております。

お願い

◎ 政治家が入学・卒業・就職・結婚・出産などのお祝いや各種会合へ祝儀などの寄附をすることは禁止されています。

◎ 政治家に、寄附を勧誘・要求することは禁止されています。

